

# 村井ひでき通信 第18号

～2015年下半年期  
活動報告編～

自民党衆議院議員 **村井ひでき** です。

明けましておめでとうございます！

平成28年が始まりました。申年の私は今年が年男。1月4日開会の通常国会・党内での政策立案・地域活動に、例年以上に全力で取組んで参ります。本号では、「2015年下半年期活動報告編」として、昨年後半の村井ひできの活動を役職ごとに整理しましたので、是非ご覧ください。

## 経済産業部会長代理として

昨年秋の人事で、自民党の経済産業部会長代理を務めることになりました。経済産業部会は、自民党の経済政策の企画立案を行う場所ですが、その部会のNO.2として、経済の好循環実現に向け日々汗をかいております。年末には、アベノミクスを支える来年度予算・税制改正案の策定に向けて、経済関係団体77団体から丸8日間かけてヒアリングを実施。要請を精査した上で、経済産業部会の要望として取りまとめ、財政当局と折衝を行いました。

その結果、法人税改革の前倒し実施(来年度から実効税率20%台へ)、設備投資促進のための固定資産税軽減制度の創設、車体課税の見直し(自動車取得税廃止と環境性能割り課税の導入)等について結論を得ることが出来ました。大企業の業績改善を着実に賃金増・中小企業の業績改善につなげ、

税収増を通じて安定した社会保障基盤を作り上げて参ります。



部会で司会をする村井。各議員からの様々な意見を最後は一つの要望の形にまとめていきます。出席議員全員の了解がとれるまで会合は何度でも開催されます。



部会でまとめた要望は、党執行部の了解を得て正式な党要望になります。写真は、稲田政調会長始め党役員を前に説明を行った際のもの。ベテラン議員からの厳しい質問にしっかり答えます。

## 厚生労働委員会委員として

初当選以来、衆議院厚生労働委員会の一員として、一貫して取り組んでいるのが、年金・医療・介護・子育てなど、問題山積の社会保障分野です。昨年後半は、病床再編・地域包括ケアなど、これからの医療・介護が向き合う課題に対し、多数の現地視察や講演・意見交換会を実施しました。さいたま市では、今後急速に高齢化が進み、医療・介護のニーズが激増します。必要な施設や人員を確保することは勿論ですが、財政的な制約がある中で、地域全体で住ま

い・医療・介護・生活支援が効率的に提供できる体制を築いていかなければなりません。団塊の世代が75才以上となる2025年に向けて、国・地域が直面する最大の課題に真正面から取り組んで参ります。



緑区の病院で講演を行った際の一コマ。地域によって異なるニーズに応える「地域包括ケア」の実現に何より大切なのは現場感です。皆様の声を是非聞かせてください。

## 農林副部会長として

マスコミでも話題になった小泉進次郎氏の農林部会長就任。その小泉進次郎部会長からのご指名で、農林副部会長も兼任することとなりました。

TPP対策をただのバラマキに終わらせることなく、真の意味で農業分野の体質強化につなげていくために何が必要か。大物ベテラン議員が多い農林部会にあって、小泉部会長と共に知恵を絞り、悪戦苦闘しながらTPP対策「農政新時代～努力が報われる農林水産業の実現に向けて」をまとめました。なお、

タイトルは元々「農業新時代」だったのですが、まず変わるべきは政治の側という部会長の強い思いで「農政」新時代となりました。



深夜の議員会館での小泉部会長との一コマ。利害関係者の多いこの分野で勉強不足の発言は命とりです。翌朝の部会に備えてこれまでの経緯、諸外国の事例など二人で勉強を重ねました。

## 財政特命委員として

今回の秋の人事で、一番嬉しかったのが、財政特命委員会のメンバーに選ばれたことです。財政特命委員会は、昨年の衆議院選挙後、党内で財政問題を真正面から議論する場として、稲田朋美政調会長直轄で設立されました。会議は、通常の部会とは異なり、限られたメンバーしか参加出来ず、今後の経済・財政運営の重要方針について

話し合うこととなります。政策通の重鎮が多い本特命委にあって、30代は私一人。消費税の軽減税率導入や低所得の年金受給者への3万円給付の是非等について、積極的に意見し問題提起しました。財政問題はそもそも「逃げきれない」世代の若手が向き合うべきテーマです。引続き気合を入れて取り組んで参ります。



財政は専門分野。稲田朋美政調会長に幾度となくご説明にあがりました。政治の世界の難しさを実感しつつも、筋はしっかり通して参ります。

## 中小企業金融の在り方検討小委員会 事務局長として

中小企業政策は私のライフワーク。昨年後半は、信用保証制度の見直しを検討し、改革の方向性を取りまとめました。信用保証制度は、中小企業者が金融機関から融資を受ける際、信用保証協会が2億8千万円を上限に8割保証をつけることができる仕組みです。現在、141万社が利用しており、我が国経済の信用創造に大きな役割を果たして

います。しかしその一方で、保証割合や保証料率が画一的すぎるといった指摘があり、地域金融機関が自由度を持って積極的に金融仲介機能を発揮するため、よきめ細やかな仕組みづくりを行っていくこととしました。日本経済の屋台骨である中小企業の自律的發展に向け、今年も、法改正も視野に入れながら詳細な制度設計を行っていきます。



林幹雄経済産業大臣に信用保証制度の改革の方向性を説明している様子。右隣は石原伸晃中小企業政策調査会長。左隣は田中良生経産部会長。

## 18歳選挙権対策部長として

来年の参議院選挙から、選挙権年齢が18歳に引き下げられます。それに伴い、自民党では青年局に18歳選挙権対策部を設立。私が部長を拝命することとなりました。メディアの関心が高い分野のようで、新聞・テレビに取り上げられたり、今後の活動方針を尋ねる記者の方が、事務所に多数いらしております。私としては、選挙権年齢が下

がったからと、奇をてらって何かをするのではなく、普段あまり接することのない20歳前後の皆さんが、政治に対してどういうイメージを持っているのか(あるいはしていないのか)、話を聞くところから地道に始められたらと思っています。明るい未来を見据えて、若者の声も丁寧に国政に届けて参ります。



先日、自民党本部で開催された大学生との意見交換会の様子。100名ほどの大学生が党本部に集まり、私を含む若手議員3名との「がちんこトークバトル」を行いました。

## メディア出演



9月7日、BS11「報道ライブ21 INsideOUT」に出演。慶應大学教授の岸博幸さんと、アベノミクスのこれからについて対談しました。ご覧になりたい方は村井事務所までご連絡下さい。



12月11日、CS-TBS「国会トークフロントライン」に出演。川戸恵子さんと、ポスト2020年の経済・社会等について対談しました。番組ホームページよりご覧頂けます。

## 【村井ひできプロフィール】

昭和55年さいたま市生まれ。  
浦和市立別所小学校、東京大学卒業。  
平成15年財務省入省。  
平成22年ハーバード大学大学院修了。  
平成23年財務省退官(主税局参事官補佐)。  
平成24年12月 96,242票を頂き初当選。  
平成26年12月 105,760票を頂き再選。  
現職 厚生労働委員、経済産業部会長代理、  
商工・中小企業関係団体委員長、農林副  
部会長、党青年局18歳選挙対策部長、中  
小企業金融の在り方検討小委員会事務局  
長、財政再建に関する特命委員等。  
家族:妻・息子(11か月)。35歳。

【国会事務所】〒100-8981千代田区永田町2-2-1衆議院議員会館I-911 TEL03-3508-7467 FAX03-3508-3297  
【地元事務所】〒330-0061さいたま市浦和区常盤9-27-9 TEL048-711-3241 FAX048-711-3242

《発行》自民党埼玉県第一選挙区支部(岩槻区・浦和区・緑区・見沼区) 住所:〒330-0061さいたま市浦和区常盤9-27-9